

メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 第106号

[2018年5月号]

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。
JAM 会報メール第106号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へ JAM の最新の活動をほぼ毎月中～下旬ごろ会報メールにて発信いたします。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<目次> [ページ]

メソトマンスリー

国内から

編集後記

次号の予定





【メソト＝齊藤 つばさ】

最近のメソット

いつもご支援いただきありがとうございます。

私は研修終了後、主に外科病棟の看護スタッフのスーパーバイザーとして関わっています。研修終了後、1月から働き始めた2期生も看護業務に慣れてきたように感じます。

～外科の創部処置について問題点と改善点、これからの課題～

今までの創部処置では、基本的に未滅菌の手袋を付けて手で行っており、処置に器械を使用する場合は、使用目的ごとに滅菌された器械をセットから取り出し使用していました。そのセットは、1つのボックスを複数の患者へ使えるように、鑷子(ピンセット)・はさみ・鉗子(ガーゼなどを掴むもの)などが何本かずつ入っていて、使うたびに必要な器械をボックスから取り出していく形でした。

このセットの問題点として、

- ・1つのケースに複数人分入っているため、器械を取り出す時にガチャガチャ複数の器械に触れながら探し、触ってしまった今使用しない器械が不潔になってしまう。
- ・使いたい器械が入っていないことがある。
- ・そのために次の器械セットを開けて前の器械セットと混ぜるため、いつが滅菌期限なのかわからなくなる。(通常開封したら24時間以内などとルールがあります。)等の問題がありました。

看護スタッフは、看護研修中にメータオ・クリニックだけでなく、タイの病院でも研修を受けているため、外科の看護スタッフは「今までのやり方では器械は不潔になっている。患者さんに良くないし、タイの病院のように器械の滅菌を維持したまま処置をしたい。」と問題点を理解していました。メディックや病棟責任者と話し合いを続け、2017年12月から、器械セット(以下ドレッシングセット)の内容が変わり、1患者毎に1セットが使えるようになりました。

今回の話し合いの道のりは長く、看護スタッフは問題点について理解していますが、看護スタッフよりもメディックの方が人数も多く、年齢も上な縦社会の病院の中で、「この方法を改善したい」と意見を出したがりません。仲のよい看護スタッフからは、「私たちが言うより、あなたがスーパーバイザーだからあなたから言った方がいいんじゃない？」と私から言うように促されたりもしました。もちろん私からも提案しましたが、私一人が「このやり方を変えたい」と言っても、病棟責任者や年上のメディックからは「君は日本のやり方がいいと思っているからそう思うんじゃないか？いままでこのやり方でやっていたんだから、このままのやり方で問題ない。」などと言われ、受け入れてもらうことはとても難しいです。

しかし、今回は、看護スタッフも問題点を認識し現状を変えたいと思っている点で、少し違いました。看護スタッフに対して、「看護研修でタイの病院で学んだことは、メディックたちはタイ病院へ行ってないという点で大きく異なります。メータオ・クリニック全体をよりよくするために、タイの病院でも研修をするカリキュラムになっているのだから、そこで学んだことを発信するのは看護スタッフの大切な仕事なのでは？」と海外ボランティア看護師をともに説明を行ったりしました。

最終的に病棟責任者がドレッシングセットの変更を受け入れてくれたのは、私一人が「これが問題である。」というのではなく、看護スタッフが自分たちの考えを自分たちの口で伝えたというところではないのかなと感じます。看護スタッフにとっては自分たちの行動によって現場を改善



できたというのはこれからの自信に繋がるのではないかと思います。

導入時から課題として挙がっているのは、今まで手で処置を行っていたことを器械を使用して行うことになり、器械の扱いに慣れていないため、どうしても手でやるよりも時間がかかってしまうことです。看護スタッフ本人が慣れない器械操作にいらいらしたり、患者さんがたくさん待っている状況で看護スタッフがもたもたしていると、「もっと早くしろ！」とメディックが怒ってしまうのもわかります。

患者毎に新しいドレッシングセットを使えるようになって、「早くしろと怒られたくないし、手でやった方が早いからドレッシングセットを使わないでいいや」と考えるスタッフがたくさん居れば、せっかく器械を滅菌しても使う前に滅菌期限が終わってしまい、むしろ器械の滅菌費用が無駄になってしまいます。器械や物品が揃っているというだけでなく、使う人の意識も変わらなければシステムとして変わらないなと感じます。

また、縫う必要がある傷や深い傷などはドレッシングセットだけでは不十分なため、ドレッシングセットの内容に追加して他の器械を出す必要があります。(例えば、縫合用に持針器、直剪刀、有鉤撮子などを取り出す。) そのため、看護スタッフはメディックに言われたことをやるのではなく、看護スタッフ自身も一緒に傷をみて、「この傷にはどんな処置をするか?」その処置にはどんな器械が必要か?」と考えながら準備をしていかないと、

メディック：「OO出して！」

看護スタッフ：「あれ? OOはどこだっけ?」と1手技ごとに、いちいち使うものを探すことになり、処置が止まってしまいます。現在、この技術・知識不足の補足のために、5月末に2時間の勉強会を行うため、パワーポイントの準備や写真の撮影、スタッフが創部処置で難しいと感じることを聞いて勉強会の内容に取り入れました。(この会報作成時はまだ準備中です。) この勉強会での学びが、業務に少しずつ活かされていけばいいなと思います。

写真1：棚に収納されているところ。

(以前はバラバラに収納されているため、日切れなどが奥に忘れていたこともありました。)



写真2：新しいドレッシングセットの中身

国内から

2018年度 JAM スタディーツアー

～ミャンマー／ビルマ難民・移民の取り巻かれている現状を知ろう～

8月 JAM 国境のスタディーツアー開催決定のお知らせ

今年度のスタディーツアー日程が決定いたしました。

今年は、**2回** 開催予定です！

メータオ・クリニックや国境の移民学校を当会スタッフと一緒に訪問しませんか？
新しいメータオ・クリニックを現地派遣員の斉藤がご案内させていただきます。
詳細は、Facebook、Web ページに順次掲載させていただきます。

【日時】

A 日程：2018年8月5日(日)～8月10日(金) 5泊6日(バンコク集合、解散)

B 日程：2018年8月26日(日)～8月31日(金) 5泊6日(バンコク集合、解散)

【場所】タイ王国 北西部 ターク県メソト市

【内容】メータオ・クリニックの訪問、移民学校の訪問、タイ・ミャンマー国境やミャンマー国内の見学などを予定

【参加費】8万円（タイ国内の移動費、宿泊費、コーディネート費、現地での食事が含まれます。）

*日本からバンコクまでの航空運賃、海外保険料金、現地での土産代、飲酒代、その他個人的な支出などは含みません。

*海外保険への加入はツアー参加の条件となります。

【対象】1および2の条件を共に満たす方

1. JAM 賛助会員

*非会員の方は、賛助会員になっていただきます。賛助会員費：一般 3,650 円、学生 1,825 円。
(詳しくは JAM のホームページをご覧ください。)

2. スタディーツアー後の報告会に参加可能な方

【定員】8名（応募多数の場合は先着順。催行最低人数 6 名。催行数に達しない場合は中止となります。)

【申込締切り】2018年6月30日(土)



【申込方法】

下記を明記の上、support@japanmaetao.org(A日程担当:神谷、B日程担当:福田)宛にメールでお申し込みください。

件名:「2018年スタディーツアー申込」

本文:

- (1) 氏名 (フリガナ)
- (2) 年齢
- (3) 住所 (都道府県のみで構いません)
- (4) 所属
- (5) 連絡のつきやすい電話番号
- (6) パソコンメールからの連絡がつくメールアドレス
- (7) ご希望の日程 (A日程もしくはB日程)
- (8) その他 (ご質問等あれば)

*申込メールを確認後、担当より正式な申込用紙をお送りします。

*その他詳細はHPの募集要項にてご確認をお願いします。

「ミャンマー祭り 2018 ようこそリアルなミャンマーへ」会場ボランティア募集中

6月30日(土)、7月1日(日)に増上寺にて開催される「ミャンマー祭り2018-ようこそリアルなミャンマーへ」にて、会場ボランティアを募集中です!

JAMは、東京の増上寺で開催される「ミャンマー祭り2018」に出展いたします。

現在、お祭り当日のJAM出展ブースをJAMの事務局と一緒に盛り上げてくださるボランティアさんを募集しています!

お時間はご希望に沿った時間帯で調整をさせていただきます。

1時間でも構いません。

具体的にお願したい内容は、民芸品販売の商品の陳列、販売(店番のお手伝い)、ブースへお越しくくださった方へのチラシやパンフレットの配布等です。

どうぞご支援いただければ非常にありがたく思います。

ミャンマー祭りホームページはこちらへ: <http://www.myanmarfestival.org/>

開催日時 6月30日(日) 10:00~18:00, 7月1日(日) 10:00~16:00

※雨天決行、荒天中止、延期なし

会場ボランティア参加のお申し込み方法

以下の情報(1)~(6)と合わせて当会のメールアドレス

support@japanmaetao.org (ミャンマー祭り2018担当 白壁) までお送りください。



件名「ミャンマー祭り2018ボランティア申し込み」

本文：

- (1) 氏名 (フリガナ)
- (2) 住所
- (3) 所属
- (4) 電話番号
- (5) パソコンメールからの連絡がつくメールアドレス
- (6) 6月30日(土)、7月1日(日)で参加可能な日にちと時間

開催場所 浄土宗大本山 増上寺境内(〒105-0011 東京都港区芝公園 4-7- 35)

増上寺までのアクセス

- ・JR線・東京モノレール 浜松町駅より徒歩10分
- ・都営地下鉄三田線 御成門駅 芝公園駅より徒歩3分
- ・都営地下鉄浅草線・大江戸線 大門駅より徒歩5分
- ・都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅より徒歩7分
- ・東京メトロ日比谷線 神谷町駅より徒歩10分

(ミャンマー祭り2018 JAM担当 白壁)

編集後記

涼しすぎると思ったら急に暑い日々が続きます。麦茶のおいしい季節がやってきました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

現在、JAMでは、ミャンマー祭りの準備に加え、毎年恒例の夏のスタディツアーの準備にもまい進しています。今年のツアーは、2回開催予定ですのでぜひ、興味のある方がいらっしやいましたらお気軽にお問い合わせください。

次号の予定

次号は、6月中～下旬ごろ配信の予定です。

インスタ、ツイッター、ホームページも、随時更新していきますのでぜひ、お時間があるときにご覧ください。

メータオ・クリニック支援の会(JAM)の活動を支援して下さい、心より御礼を申し上げます。JAMの活動は皆さまからの温かい寄付によって支えられ、院内感染予防活動、移民学校での啓発活動など様々なプロジェクト・設備投資を実施しています。

支援の輪が広がっていくよう、どうぞ当会のFacebookもフォローして「いいね」や「リツイート」で応援してください。

当会では、都度の支援金の受け入れとともに、「1日10円からの支援」を基本とし、継続的なご支援をお願いする賛助会員制度を用意しております。

【一般会員】3,650円/年 【学生会員】1,825円/年 【法人会員】36,500円/年
当会ホームページにアクセスしていただき、お申し込みフォームから会員登録のうえ、指定の口座へのお振込をしていただきますと、賛助会員として登録させていただきます。詳しくは当会ホームページをご覧ください。



